

第2回 国際シンポジウム 思春期・若年成人がん患者・サバイバーのための 性・生殖に関する支援－英国における実践－

日 時：2017年2月5日（日） 13:00～16:40（開場12:30）
場 所：甲南女子大学 1号館 〒658-0001 神戸市東灘区森北町6-2-23
定 員：先着60名（先着順） 同時通訳有
対 象：思春期・若年成人がん患者・サバイバーの支援に携わる専門職
参加費：3,000円 申込期限：2017年1月5日（木）17:00

※定員に達した場合は申込期限を待たずに申し込み終了とさせていただきます。



講演1 性・生殖の問題をもつ思春期・若年成人がん患者・サバイバーへのケアの実際
Dr. Louise Soanes, Teenage Cancer Trust, Nurse Consultant
10代および若年成人がんの患者団体Teenage Cancer Trustのナースコンサルタント。
妊孕性温存に関する倫理的、具体的マネジメントについて、患者・家族・専門職の視点からお話し
いただきます。



講演2 AYAがん治療後の性・性生活困難に関する臨床アセスメントとマネジメント
*Dr. Isabel White, Clinical Research Fellow in Psychosexual Practice
The Royal Marsden NHS Foundation Trust*
がん患者・サバイバーの性の心理的介入の第一人者。思春期・若年世代の実際例を基に、この問
題に関わる専門職のケアも含めた問題について解説していただきます。



講演3 がんがAYA世代の恋愛・結婚に与える影響
～がんノートが送る、がん経験者の生発信情報～
NPO法人がんノート代表理事 岸田徹、がん経験者 山谷佳子
がんノートとは、がん経験者のがん経験者によるがん経験者のための「生のインタビュー型
情報発信番組」です。



総合討論 16:15-16:35
閉会挨拶・お知らせ等 16:35-16:40

申込方法：

思春期若年成人がん・サバイバー支援研究会事務局のメールアドレスacancercare@gmail.comへ以下
の内容をご記入の上、お申込み下さい。折り返し、参加費用をお振込みいただきます口座をご案内致します。

①お名前 ②ご所属・職種・職位 ③添付ファイルをお送りすることのできるメールアドレス

本シンポジウムは①平成28年度国立がん研究センター研究開発費「小児・AYA世代のがんサバイバーシップ及び大人のがん教育に関する研究」（主任研究者高橋都 分担研究者 丸光恵）②平成28-30年度科学研究費助成事業・挑戦的萌芽研究「若年成人期のがん患者が抱える性や生殖機能の問題解決支援とフォローアップ体制」（主任研究者工藤美子）③基盤研究C「性腺機能障害を有する思春期小児がん経験者の支援ガイドラインの構築」（主任研究者富岡晶子）の一部として開催いたします。本シンポジウムに参加申し込みをされた方に研究協力をご依頼することがあります。

案内図



タクシー

JR摂津本山またはJR芦屋から約1100円
 阪急芦屋川から約900円

* 阪急岡本・JR甲南山手は台数が少ないため、
 待ち時間が長くなる可能性があります。

* 日曜日のスクールバスの運行はありません。

